

家庭科（くらし）学習指導案（略案）

平成21年2月6日 金曜日 2校時
 高等部 くらしABグループ
 男子6名 女子3名 計9名
 場所 高等部 1年教室
 指導者 小野祐貴子 (CT) 有田成志 (ST1)
 加治木守 (ST2) 西田雅美 (ST3)

1 題材 「一品はわたしの役割～ポットや電子レンジで調理しよう～」

2 本時の学習 (8/10)

(1) 全体目標

○ 手順カードやメモ、商品包装の表示等の利用方法が分かり、電子レンジで調理することができる。

(2) 個人目標

	生徒	個人目標
A グ ル ー プ	H. N (1年, 男)	○ 包装表示から調理時間を読み取り、タイマーを合わせて調理することができる。
	Ki. M (1年, 女)	○ 「〇個、〇分ですよ」等の言葉掛けによって分量や調理時間を理解し、手順表の写真を手掛かりに調理することができる。
	U. K (2年, 女)	○ 言葉掛けによる支援を受けながら準備等を行い、スタートボタンを押して調理することができる。
	Ku. M (3年, 女)	○ 写真入りの手順表を手掛かりに分量や調理時間を理解し、調理することができる。
	H. M (3年, 女)	○ 写真入りの手順表を教師が指差しすることを手掛かりに分量や調理時間を理解し、調理することができる。
B グ ル ー プ	K. H (1年, 男)	○ 文字によるメモを見て、個数や調理時間、手順を理解し、調理することができる。
	M. K (1年, 男)	○ 写真入りの手順表を教師が指差しすることを手掛かりに分量や調理時間を理解し、調理することができる。
	H. S (2年, 男)	○ 写真入りの手順表を教師が指差しすることを手掛かりに分量や調理時間を理解し、調理することができる。
	T. K (3年, 男)	○ 一枚ずつの写真カードを自分でめぐりながら、分量や調理時間、手順を理解し、調理することができる。

(3) 指導及び支援に当たって

本題材では、学校・家庭での安全面や取り組みやすさや、栄養バランス及び食への興味・関心、自己有用感等の食育面を考慮し、電子レンジやポットを使用して、主食・主菜・副菜・汁物・飲み物のうち、一品の調理を担当する場面設定を行っている。生徒たちはこれまでに、ポットを使った飲み物やスープの調理活動を通して、手順カードの使い方や商品包装の表示の見方等の学習経験がある。また、多くの支援を受けながら、ご飯の電子レンジ調理を経験した。そこで本時では、複数の電子レンジ食品から自己選択し、主菜を作る活動を通して、調理への意欲や自己有用感を高めたり、経験を生かして電子レンジ調理に取り組んだりすることができるようにしたい。

本題材の開始前に、家庭での調理活動の現状や願いをアンケートで把握した。また、家庭と支援方法を共有し、実践機会を設定することで、家庭での実践が定着するようにしたい。

必然性を高めるために

・ 献立の中の一品を担当する役割を設定し、複数のメニューから自己選択できるようにする。

思考・操作を十分に行うために

・ ポットを使った調理で学んだ、手順カードや商品表示の見方を活用できるようにする。
 ・ 個に応じて、同時・継次的な写真カードを用いたり、電子レンジのスイッチにシールを張ったりする等の環境の工夫を行い、思考・操作の手掛かりが得られやすいようにする。

学習を振り返るために

・ 個に応じてフィードバックできるように、手順の一つ一つに称賛や修正をしたり、味わいながら成功及び失敗とその原因を考えたりするといった活動を行う。

実践意欲を高めるために

・ 家庭実践を宿題として設定する。その際に、表示の見方や手順カードや電子レンジのシール等、支援方法を家庭と共有し、家庭での実践・日常化がしやすいようにする。
 ・ 成功経験及び失敗した原因が分かること、実際に味わうこと、電子レンジ調理ができる様々な食品を知ることなどによって、また作りたいという意欲がもてるようにする。

(4) 実際

過程	主な学習活動	指導及び支援の手立て	資料・準備																
導入 (5分)	1 はじまりのあいさつをする。	・ あいさつを意識し、学習の構えを作るために、サインを添えてあいさつを行う。	レシピポスター 写真 主菜以外の献立																
	2 前時の活動を振り返り、目当てを知る。 好きなおかずを自分で作ろう	・ 活動に見通しがもてるようにするために、前回までに作った物の表（レシピポスター）を提示する。 ・ 不足している食品を分かりやすくするために、五つの器（主食、主菜、副菜、汁物、飲み物）を提示する。																	
展開 (30分)	3 調理の準備をする。 ・ 手洗いをする。 ・ エプロン等を着用する。 ・ グループに分かれる。	・ 表示を見ることの日常化や、衛生的な手洗いをするために、ポスターを確認しながら手洗いを行い、手洗い後はキッチンペーパーで手をふくようにする。 ・ 2グループに分かれて調理し、試食は一カ所（ST3）で行う。グループは表を掲示し、自分の活動場所（教師）が分かるようにする。	石けん キッチンペーパー 冷蔵庫 電子レンジ 電子レンジ 食品手順表 手順カード 食器類 台ふき																
	4 調理をする。 ・ 冷蔵庫から選択する。 【必然性】 ・ 電子レンジで調理する。 【思考・操作】 ・ 試食する。【振り返り】 ・ 片付けをする。 （食器洗い、机ふき） ＜グループ編成＞ <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>電子レンジ</th> <th>生徒</th> <th>教師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">A</td> <td>H. N</td> <td rowspan="4">CT ST1</td> </tr> <tr> <td>Ki. M</td> </tr> <tr> <td>U. K</td> </tr> <tr> <td>Ku. M</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">B</td> <td>H. M</td> </tr> <tr> <td>K. H</td> <td rowspan="3">ST2 ST3</td> </tr> <tr> <td>M. K</td> </tr> <tr> <td>H. S</td> </tr> <tr> <td>T. K</td> </tr> </tbody> </table>	電子レンジ		生徒	教師	A	H. N	CT ST1	Ki. M	U. K	Ku. M	B	H. M	K. H	ST2 ST3	M. K	H. S	T. K	・ H. Nには調理時間が設定できるように、「2分20秒=1分を2回、10秒を2回押す」等の表を提示する。 ・ Ki. Mには、個数と調理時間が分かるようにするために、包装表示の数字部分に印を書くとともに、音声と指で数を表すように言葉掛けをする。 ・ U. Kには、音声、指差し、身体ガイダンスの段階的な支援をしながら活動を行うようにし、シールを張ることで、スタートボタンが意識できるようにする。 ・ Ku. Mは友達の行動をモデルにできるようにするために活動の順番を配慮する。 ・ H. M, M. Kには手順表や手順カードを工程ごとに確認しながら行うようにする。 ・ K. Hには、手順が分かるようにするために、文章で手順を示し、「次は?」、「○番」等の言葉掛けをする。 ・ 手順が分かるようにするために、T. Kには一枚ずつのめくりタイプの手順カードを自分でめくりながら行うようにする。 ・ H. Sは次の行動が分かるようにするために、必要な場面で表の写真を指差しする。 ・ Ki. M, K. Hには、成功や失敗の原因、前回よりも良かったことなどについて言葉掛けをする。 ・ 机をふくときは、隅々まで拭くことができるようにするために、机の角にシールを張っておく（K. H, M. Kなど）。
	電子レンジ	生徒		教師															
A	H. N	CT ST1																	
	Ki. M																		
	U. K																		
	Ku. M																		
B	H. M																		
	K. H	ST2 ST3																	
	M. K																		
H. S																			
T. K																			
5 レシピポスターに包装材を張り、調理時間等を書く。 【振り返り】	・ 振り返ることができるように包装は表に張り、個数と加熱時間を記入する。	電子レンジ ポスター 両面テープ 電子レンジ 食品等																	
6 活動を振り返る。 【振り返り】	・ 振り返り、実践意欲を高めるために、表を見ながら調理した物や今度作ってみたい物を発表するようにする。																		
終末 (5分)	7 家庭での課題を確認する。 【実践意欲】	・ 家庭で役割（＝手伝い）として行うことが分かり、学級担任や保護者に伝えることができるようにするために、ワークシートファイルを持ち帰るようにする。	家庭用ワークシート																
	8 おわりのあいさつをする。	・ あいさつした後、スムーズに次の活動に移ることができるようにするために、次の行動を予告する。 ・ あいさつを意識するために、サインを添えて行う。																	

※ CT：チーフティーチャー，ST：サブティーチャー

(5) 評価

- 手順カードやメモ、商品包装の表示等の利用方法が分かり、電子レンジで調理することができたか。